



読書週間が始まります

まだまだ、暑い日が続いているためか、暦の上では秋になって1か月以上経過していることなど、全く実感できない日々が続いています。近年の異常気象により、春・夏・秋・冬といった日本の四季の趣が薄れつつあることに寂しさを感じる今日この頃です。秋と言えば、読書週間です。涼しくなることで過ごしやすくなってくる秋の季節に読書時間を増やすことで、子供たちにとって心を耕したり、知識を増やしたりする貴重な機会を設けることができればと思います。

今年度の読書週間は、9月22日から30日です。この期間には、図書委員会の児童による様々な取組が予定されたり、いつも以上に図書館で借りられる本の冊数が増えたりします。読書週間中は、ゲーム機やスマホ・タブレットPCに使用する時間を読書に親しむ時間に置き換えて欲しいと願っています。

また、学校では今年度もボランティアによる朝の読み聞かせ活動を行っています。活動中に校舎を回っていると、どの教室の子供たちもボランティアの皆様の読み聞かせに目を輝かせながら、集中して聞き入っています。お忙しいと思いますが、読書週間にぜひ御家庭でも、本の読み聞かせをしていただけると、お子様が本の素晴らしさにふれるきっかけになるものと思われます。

御協力をよろしくお願いいたします。



ニュージーランドのみなさんとの交流

18日(木)、昨年度に引き続き、倉敷市の姉妹都市であるニュージーランド国クライストチャーチ市から学生親善使節として倉敷を訪れている14名の学生さんと2名の引率の先生を本校にお迎えし、5年生の児童と交流活動を行いました。

音楽室で自己紹介をし合ったり、みんなでゲームをしたりした後、3つの教室に分かれて、5年生が用意した「折り紙」「けん玉」「お手玉」などの日本の伝統的な遊びが体験できるブースをニュージーランドの生徒に回ってもらいました。最初は緊張からお互いに固さが見られた子供たちも、次第に打ち解けあって笑顔いっぱい楽しい交流会になりました。また、日頃一生懸命に学習している英語で話しかけている様子も見られました。

この貴重な経験が、将来、世界をまたにかけて活躍するきっかけになれば素晴らしいと思います。



昨年度の図書館の活用から

先月、昨年度の学校図書館における個人の平均貸出冊数についての報告が市教委から送られてまいりました。

本校は、令和3年度までは、毎年のように倉敷市全体の平均冊数を20冊以上も上回るほど、貸出数が多かったのですが、ここ2年間は市平均とほぼ同じか下回る状況でした。しかし、令和6年度は、市平均の86冊に対して、本校は103冊と大きく上回りました。特に、現在の2～4年生の児童の貸出冊数は、いずれの学年も市の平均を35冊も上回っていました。

巻頭の文でも記載しましたように、これから秋の読書週間が始まります。今年度も、たくさんの本を読むことで、知識を増やすとともに心を耕して欲しいと思います。

学校図書館における個人の平均貸出冊数(平成27年度～令和6年度)

学校名 上成小

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	平均
令和6年度 貴校	117	128	132	107	85	50	103
市の平均	82	93	95	90	81	74	86